

令和4年度全国学力・学習状況調査 分析シート（小学校）

国語	平均正答率 (%)	中央値 [14問中] (問)	話す・聞く (%)	書くこと (%)	読むこと (%)	言葉 (%)	言語文化 (%)	(質問紙調査から) 読書は好きですか		
									市・児童数の割合	市・国語平均正答率
市	69	10	70.6	51.0	73.4	71.0	71.9	当てはまる	48.3%	75.4%
都	69	10	69.1	51.3	72.1	71.4	75.5	どちらかといえば 当てはまる	28.7%	65.2%
国	65.6	10	66.2	48.5	66.6	69.0	77.9	どちらかといえば 当てはまらない	14.8%	62.5%
								当てはまらない	8.0%	54.1%

【教科に関する調査から分かったこと】

○描写や叙述を基に、登場人物の行動や気持ち、相互関係などを捉え、適切なものを選択することが、よくできています。（問2(1)(2)）

△「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文書の良いところを見つけ、条件に合わせて文章を書くこと（3二）や、文の中で既習の漢字を正しく使うこと（3三イ）に課題が見られました。

【質問紙調査から分かったこと】

「読書が好き」について、全体の77.0%の児童が肯定的な回答をしており、肯定的な回答をしている児童ほど平均正答率が高い傾向にあります。特に、国語においては、その傾向が顕著になります。朝読書や読み聞かせなど、日常的に読書に親しむような機会を多く作ることが、学力とも結びついていることが分かりました。

算数	平均正答率 (%)	中央値 [16問中] (問)	数と計算 (%)	図形 (%)	変化と関係 (%)	データの活用 (%)	(質問紙調査から) 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか		
								市・児童数の割合	市・算数平均正答率
市	67	11	72.9	67.8	55.5	75.4	当てはまる	47.1%	73.0%
都	67	12	72.1	68.6	57.6	72.4	どちらかといえば 当てはまる	34.4%	65.8%
国	63.2	11	69.8	64.0	51.3	68.7	どちらかといえば 当てはまらない	13.8%	57.0%
							当てはまらない	4.4%	47.9%

【教科に関する調査から分かったこと】

○分類整理されたデータから、目的に応じてデータの特徴を捉えて考察し、適切なものを選択することが、よくできています。（問3(2)）

△果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの果汁の割合について正しいものを選ぶこと（問2(3)）や、示されたプログラムでかくことができる図形を選ぶこと（問4(4)）に課題が見られました。

【質問紙調査から分かったこと】

「算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」について、全体の81.5%の児童が肯定的な回答をしており、肯定的な回答をしている児童ほど平均正答率が高い傾向があります。普段の授業から、見通しをもって課題に粘り強く取り組む資質・能力を、児童に育むよう指導していくことが重要であることが分かりました。

理科	平均正答率 (%)	中央値 [17問中] (問)	エネルギー (%)	粒子 (%)	生命 (%)	地球 (%)	(質問紙調査から) 理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか		
								市・児童数の割合	市・算数平均正答率
市	67	12	54.6	63.8	78.1	69.1	当てはまる	47.7%	72.4%
都	65	12	53.4	62.4	77.4	67.7	どちらかといえば 当てはまる	37.3%	64.3%
国	63.3	11	51.6	60.4	75.0	64.6	どちらかといえば 当てはまらない	10.6%	55.8%
							当てはまらない	3.8%	51.2%

【教科に関する調査から分かったこと】

○自分の観察の記録と新たに追加された他者の観察の記録を基に、問題に対するまとめを見直して書くこと（問1(2)）や、実験の結果から、問題の解決に必要な情報を取り出しやすく整理した記録を選ぶことが、よくできています。（問3(2)）

△問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書くこと（問3(4)）に課題が見られました。

【質問紙調査から分かったこと】

「理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか」について、全体の85.0%の児童が肯定的な回答をしており、肯定的に回答した児童ほど、平均正答率が高い傾向が見られました。児童が予想や仮説を基に観察や実験を行い、結果を整理して、その結果を基に考察するという学習活動の充実を図ることが重要であることが、データから明らかになりました。

令和4年度全国学力・学習状況調査 分析シート（中学校）

国語	平均正答率 (%)	中央値 [14問中] (問)	話す・聞く (%)	書くこと (%)	読むこと (%)	言葉 (%)	言語文化 (%)	(質問紙調査から) 読書は好きですか		
									市・生徒数の割合	市・国語平均正答率
市	72	11	70.0	46.3	72.6	75.2	73.3	当てはまる	40.4%	77.3%
都	70	10	65.7	43.8	70.8	73.6	70.9	どちらかといえば 当てはまる	28.8%	73.6%
国	69.0	10	63.9	46.5	67.9	72.2	70.2	どちらかといえば 当てはまらない	17.3%	67.8%
								当てはまらない	13.5%	60.3%

【教科に関する調査から分かったこと】

○自分の考えが分かりやすく伝わるようにスピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書くことが、よくできています。

(問1三)

△文章中に使われている表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択すること(3一)に課題が見られました。

【質問紙調査から分かったこと】

「読書が好き」について、69.2%の生徒が肯定的な回答をしており、肯定的な回答をしている生徒ほど平均正答率が高い傾向にあります。これは、数学や理科においても、同様の傾向が見られます。朝読書や図書館の貸し出しの促進など、日常的に読書に親しむような機会を多く作ることが、学力とも結びついていることが分かりました。

数学	平均正答率 (%)	中央値 [14問中] (問)	数と式 (%)	図形 (%)	関数 (%)	資料の活用 (%)	(質問紙調査から) 数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか		
								市・生徒数の割合	市・数学平均正答率
市	58	8	62.0	50.9	51.8	63.1	当てはまる	34.5%	68.4%
都	54	8	59.5	47.6	47.1	59.5	どちらかといえば 当てはまる	41.4%	55.5%
国	51.4	7	57.4	43.6	43.6	57.1	どちらかといえば 当てはまらない	18.2%	50.1%
							当てはまらない	5.6%	36.3%

【教科に関する調査から分かったこと】

○与えられたグラフにおいて、特定の点の座標を読み取ること(問8(1))、証明で用いられている三角形の合同条件を書くこと(問9(1))が、よくできています。(問3(2))

△42を素因数分解し、自然数を素数の積で表すこと(問1)に課題が見られました。

【質問紙調査から分かったこと】

「数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」について、全体の75.9%の生徒が肯定的な回答をしており、肯定的な回答をしている生徒ほど平均正答率が高い傾向があります。普段の授業から、見通しをもって課題に粘り強く取り組む資質・能力を、生徒に育むよう指導していくことが重要であることが分かりました。

理科	平均正答率 (%)	中央値 [21問中] (問)	エネルギー (%)	粒子 (%)	生命 (%)	地球 (%)	(質問紙調査から) 理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか		
								市・生徒数の割合	市・理科平均正答率
市	53	11	44.8	55.0	62.9	47.3	当てはまる	41.8%	59.7%
都	51	11	42.8	51.8	60.1	44.9	どちらかといえば 当てはまる	42.7%	50.7%
国	49.3	10	41.9	50.9	57.9	44.3	どちらかといえば 当てはまらない	11.2%	43.3%
							当てはまらない	4.2%	38.1%

【教科に関する調査から分かったこと】

○モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を適切に設定した実験操作の組み合わせを選択すること(問1(2))や、液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択すること(問7(1))が、よくできています。

△課題に正対した考察を行うために適切に処理されたグラフを選択すること(問5(2))に課題が見られました。

【質問紙調査から分かったこと】

「理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか」について、全体の84.5%の生徒が肯定的な回答をしており、肯定的に回答した生徒ほど、平均正答率が高い傾向が見られました。生徒が予想や仮説を基に観察や実験を行い、結果を整理して、その結果を基に考察するという学習活動の充実を図ることが重要であることが、データから明らかになりました。